

親切運動の取組について

学校名 小矢部市立津沢小学校

児童生徒数 224人

1 親切運動の取組の紹介

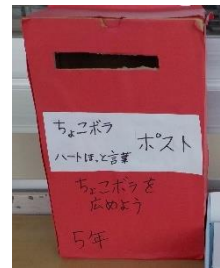
① 全校参加型の挨拶運動

津沢小学校では、気持ちのよい挨拶が響き合う学校を目指しています。今年度は、昨年度作成した挨拶のポイントが書かれた看板と挨拶の標語が書かれたオリジナルの旗を用いて挨拶運動を行っています。朝の挨拶運動では計画委員が中心となり、「大きな声」「目を合わせた挨拶」「先がけ挨拶」等、全校に気持ちのよい挨拶を広めています。また、各学年が曜日ごとに挨拶運動を行うといった全校参加型の取組も行うことで、子供たちは互いに元気な挨拶をし合い、気持ちのよい挨拶をすることの大切さに改めて気付いていました。



② ハートほっと言葉・ちょこっとボランティア

「ハートほっと言葉」とは、言われて心が温くなる言葉です。全校に温かい言葉や行動が広まるように、ハートほっと・ちょこボラポストを校内に設置しました。このポストには、自分が言われて嬉しかった言葉や友達がしていたちょっとしたボランティア活動を紙に記入して入れます。お昼の放送で、ポストに入れられた言葉や行動を紹介し、全校のみんなが温かい気持ちになりました。



③ ハートほっと感謝集会

日々、お世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えたいと考え、12月には「ハートほっと感謝集会」を開きました。一生懸命取り組む姿を見てもらうことで感謝の気持ちを伝えたいと考え、全校を代表して2年生は合奏や合唱、5年生は縄跳びとダンスを披露しました。また、感謝の気持ちを伝えようと全校で「ありがとうの花」を合唱し、プレゼントや手紙を渡しました。お世話になっている方々に笑顔になっていただけたことで、日々の学校生活が多くの方に支えられていることを実感し、これからも感謝の気持ちをもって過ごそうと考える機会となりました。



2 親切運動に取り組んで

親切運動に取り組むことで、全校に挨拶や思いやり、感謝の心が広まっています。一方でパターン化した活動になってしまい、子供の意欲が停滞してしまうときがあったので、全校のみんなが思いやりの心をもって取り組むことができるよう、今後も子供主体で活動を工夫していきます。